

国際会計人材の育成の取組み

2021年11月16日

公益財団法人財務会計基準機構

❖ 当財団は、IFRSに関して国際的な場で意見発信できる人材及びIFRSに基づく会計監査の実務を担える人材等の育成を目的として、国際会計人材ネットワークを2017年4月に組成している。

❖ 現在のネットワーク登録者は、以下のとおりである。

	企業の役員 ・従業員	公認会計士 ・監査法人 勤務者	証券アナ リスト	基準設定主 体の委員・ 研究員	官庁の 行政官	学識 経験者	合計
2017/4 (組成当初)	55名	642名	17名	28名	11名	0名	753名
2021/9	113	1,098名	29名	28名	29名	1名	1,298名

- ❖ 国際会計人材ネットワークでは、登録者全員を対象としたシンポジウムや、特定のテーマによる少人数を対象とした定例会を行っている
- ❖ 前回のご報告（2020年11月6日）以後、2021年3月3日に第4回シンポジウム「国際的な会計基準の開発に関する我が国からの意見発信の現状と課題」をウェビナー形式で開催している

内容	講演者
オープニング・スピーチ	林田英治（財務会計基準機構 理事長）
ご講演	古澤知之様（金融庁 企画市場局長）
パネルディスカッション （第1部）：公開草案「全 般的な表示及び開示」	【パネリスト】 鈴木理加様（IASB理事） 野崎邦夫様（日本経済団体連合会 金融・資本市場委員 会企業会計部会長）
パネルディスカッション （第2部）：ディスカッ ション・ペーパー「企業結 合一開示、のれん及び減 損」	小倉加奈子様（日本公認会計士協会 副会長） 熊谷五郎様（日本証券アナリスト協会 企業会計部長） 園田周様（金融庁 企画市場局企業開示課国際会計調整 室長 兼 総合政策局総務課国際証券規制調整官） 川西安喜（ASBJ副委員長） 司会：小賀坂敦（ASBJ委員長）

❖ 当財団は、IASB等の組織の活動に直接参加し議論できる人材を育成することなどを目的として、2012年より会計人材開発支援プログラムを開始し、これまで以下のとおり、実施している。

▶ 第1期～第6期（2012年1月～2022年1月）

作成者47名、利用者23名、監査人43名、行政官1名 計114名

❖ プログラムの受講修了者については、以下の役職につかれているほか、多くの方が各セクターで会計基準設定に関連する活動に参加されている（1名が複数の役職に就くものも含む）。

■ IFRS諮問会議(IFRS-AC)メンバー	2名	（うち1名は副議長）
■ IFRS解釈指針委員会(IFRS-IC)委員	1名	
■ IASB資本市場諮問審議会(CMAC)委員	2名	
■ IASBのスタッフ（在ロンドン）	4名	
■ ASBJの委員	5名	
■ ASBJ専門委員会の専門委員	17名	
■ ASBJの専門研究員	15名	

- ❖ 第6期は本年3月より開始している
 - ▶ ASBJ委員長及び副委員長による講義 2回実施済（残り5回）
 - ▶ 外部講師による講義 1回実施済（残り3回）
 - ▲ 熊谷五郎 みずほ証券グローバル戦略部産官学連携室上級研究員・日本証券アナリスト協会企業会計部長
 - ▶ 概念フレームワークの講義 5回実施済（残り3回）
 - ▶ 英語によるディスカッション・トレーニング 未実施（残り4回）

